

信州最古の峠

# 保福寺峠



一般県道 下奈良本豊科線 保福寺峠(松本市)

県道 181 号下奈良本豊科線の松本市と上田市境にある峠が保福寺峠です。近くを流れる川は保福寺川(ほふくじがわ)と読みますが、この峠は保福寺峠(ほうふくじとうげ)と読むようです。

古くは東山道の一部として明治末期まで盛んに利用され、東北信と中南信を結ぶ信州の交通の重要な箇所でした。峠をはさんだ地域は峠を通る人々の宿場町として栄えていたそうです<sup>1)</sup>。

松本藩主も参勤交代の際には保福寺峠を越え江戸へと向かっていました。

明治になり長野県による「七道開削事業」の第二路線の候補として保福寺峠を通るルートが提案されましたが、最終的には青木峠を通るルートに決定しました。第二路線は完成後に県道と認定され、現在は国道 143 号となっています<sup>2)</sup>。そのため、次第に保福寺峠の交通は衰退していったようです。

保福寺峠には日本アルプスの名付けの親である「ウォルター・ウェストン」が峠から見えた日本アルプスの景色を絶賛したという場所があります。

石碑にはウェストン直筆のサインが刻まれており、石碑の裏にはウェストン著「日本アルプス登山と探検」の一部が刻まれていました。(P3 参照)



ウォルター・ウェストン日本アルプス絶賛の地から撮影



ウォルター・ウェストン日本アルプス絶賛の地の石碑



石碑裏には「日本アルプス登山と探検」の一部と「四賀村、青木村建立」について刻まれています。

県道 181 号下奈良本豊科線は現在冬期閉鎖中(2017年11月30日～2018年4月12日)ですが、冬期閉鎖解除後にウェストンが見た日本アルプスを堪能してみたいかたがでしょうか。



石碑入口の標識

ドローンで峠上空からの風景を撮影しました。是非そちらもお楽しみ下さい。(筆者はこの時に初めてドローン进行操作しました。)

URL [https://youtu.be/\\_sPiqJovDc4](https://youtu.be/_sPiqJovDc4)



参考文献

- 1)市川健夫:信州の峠,第一法規,1972,pp.134-137.
- 2)山浦直人,小西純一:明治時代における長野県の道路行政-七道開削事業にみる道路技術について-,土木史研究 論文集 Vol.26,2007,pp.19-33.

## 石碑の記載文字

(右)

明治二十四年八月

「午後一時少し過ぎ、私達は人力車に揺られながら、上田町を擁している山囲いの溪谷を横切って行き、保福寺峠を越え松本に西走するみちに沿っていた。(中略)午後六時、私達は海拔 4500 フィートの山頂に達した。それから、その山稜の割目の左側にある小さな円岡に立つと、私達の心引かれていたあの大連峰の全景が、突然眺められた。私達は思いがけなくその眺望に接したので、ただ驚嘆するばかりだった。」

「日本アルプス登山と探検」より

ウォルター・ウェストン著 岡村精一訳

(左)

ウォルター・ウェストン(一八六一年～一九四〇年)

英国宣教師 明治二十一年から大正四年まで都合三回来日

日本アルプスを世界に初めて紹介した人であり保福寺峠を越えたのは明治二十四年八月二日と推定される。

昭和六十一年十月(国際アルピニスト年)

四賀村

青木村

建立